



使い方

□ 支援者の方へ

障がいのある方は、災害時に一人で避難できず、誰かの援助が必要になることが多いので、地域の方の力が非常に重要です。日頃から、町内等に支援を必要としている方がいないか気をつけ、コミュニケーションを図りながら災害時に備えましょう。

また、**支援者用**のページには、障がいごとに特性や避難行動・避難生活支援時に気をつけることが記されていますので、可能な範囲でご支援いただきますようお願いいたします。

なお、**支援者用**のページの「本人・家族等から支援者へ」の欄に記入してある障がいの状況等は個人情報ですので、管理には気をつけてください。

□ 本人・家族の方へ

支援者用のページは、災害時に支援してくださる方に自分の障がいを理解してもらうために活用してください。なお、障がいの状況は一人ひとり様々ですので、「本人・家族等から支援者へ」の欄に、ご自身の障がいの状況や特別気をつけてほしいことを記入し、普段からコミュニケーションを図りながら情報を共有しておきましょう。

本人・家族用のページは、関係のある障がい部分を抜き出し、ご自宅等の目に付くところに貼り付けて、非常時持出品の確認や平常時からできる対策を行うよう心がけましょう。また、災害発生時に速やかに避難できるよう自分に合った避難行動を確認しておきましょう。

てびきは福島市のホームページ(<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/>)
⇒「健康・福祉」⇒「福祉・介護」⇒「障がい者福祉」⇒「手引き・手帳」⇒「障がいのある方の災害対応てびきを作成しました」に掲載しており、ダウンロードできますのでご活用ください。